

第65期 中間報告書

2022年3月1日～2022年8月31日

The way forward
トップインタビュー

世界情勢に翻弄されることなく、 中長期的な成長基盤を着実に構築。

第65期上期における国内と中国の自動車生産は、半導体などの部品供給の制約により前年を下回る結果となりました。原材料価格は依然として上昇基調が続いています。このような状況のもと、当社グループにおいては新規顧客の獲得や製品販売価格の是正により売上高は前年比増収となりましたが、販売価格の是正は効果の発現に一定のタイムラグが生じることから、営業利益は減収となりました。下期以降はこのタイムラグが改善に向かい、営業利益率は上昇に転じると見込んでいます。

このように私たちは、上期全体を通じて激しく変動する原材料費や為替への対応に追われましたが、その一方で次なるビジネスへのチャレンジを進めました。苦しい時期ではありますが、中長期的なニーズを踏まえた取り組みは、将来必ず実を結ぶと考えています。例えば中国での「EVプロジェクト」。現地メーカーと共同で、EV向けアルミ鍛造用潤滑剤など新製品開発が順調に進行。国内では、廃液を減らし、経済性、環境性を高めるため難燃性作動液のリサイクル実現へ、サプライチェーン全体への働きかけも始めています。新たな事業の柱になると見込まれるライフサイエンス分野や有機薄膜太陽電池(OPV)についても産学連携での研究開発を積極的に行っています。また持続可能な社会の実現を目指し、GHG(温室効果ガス)排出量およびTCFD(気候関連財務情報開示タスクフォース)への対応について今期内公開に向け準備を進めています。現在は激動の世界情勢に柔軟に対処しつつ、社内の事業環境を整えサステナビリティ向上に努め続けることが、今後の成長を大きく左右すると考えています。まずは23年度の中期経営計画達成に向けて、高付加価値製品で収益を確保し、会社も社員も継続的に成長できる基盤の構築が重要。製品ラインナップの見直しや、働き方、研究開発体制の積極的な改革を図りながら、目標達成に全力で取り組んでいきます。



株式会社 **MORESCO**

代表取締役社長 CEO 両角 元寿



時代をリードするMORESCOの姿を 研究開発から。

取締役 常務執行役員 CTO 坂根 康夫

発想力、解決力の進化のために、 全社共通課題に対応できる研究開発体制へ。

私たちを取り巻く事業環境が急速かつ劇的に変化している中で、MORESCOが持続的に成長していくにはさまざまな挑戦が求められます。一つは、培ってきた既存分野での技術をさらに向上させ、ニッチトップとしての立場を維持すること。加えて、世の中のニーズに応える新たなビジネス創出にも挑んでいく「両利きの経営」がますます重要となります。ただ、既存技術と新規技術の発展を並行させるだけの両翼戦略では、新しい挑戦とは言えません。現在必要なのは、気候変動対策をベースに、既存と新規の技術をシンクロさせながら、カーボンニュートラルの未来に向かって両翼で羽ばたく経営です。当社ではその実現のために従来とは異なる研究開発体制を構築し始めています。これまでは主に、各市場でのニーズに即応できる事業部別に開発を実行してきました。ただこれでは、今後世界で求められる製品のための基礎技術を生み出すことが難しい。そこでこれからは、事業部を横断し多部門で連携。さらに海外子会社や大学とも連携を取りながら、既存と新規の両分野で世界的な社会課題に対応できる研究開発を行う体制を整えていきます。

MORESCOならではの付加価値を生み出す 事業戦略と人材戦略を加速させる。

この世界的な社会課題に対応する研究開発体制のもとで、いくつかの新しい研究テーマが生まれてきています。例えば、従来の石油石炭由来の製品原料を、非石油のバイオ原料から自社で作るという研究です。脱炭素や環境貢献への意識が高まる中、当社は畜産現場で出る排泄物や、都市の食品廃棄物などを発酵原料とするバイオガスから非石油石炭ポリマーの生成に挑んでいきます。また物質の浸透率を高める当社独自のナノエマルジョン技術を扱うライフサイエンス分野では、化粧品での皮膚浸透効果や医薬品での体内吸収効果を高めるという価値を通じて、健康的な世界の実現へ貢献していきます。今後は、より環境にやさしく機能にすぐれた高付加価値製品の開発に向けて、事業部を横断して研究開発を進めるのはもちろん、人材戦略も次のステージにシフト。高度な経験、見識とともに「世界にとって当社はかくあるべき」というビジョン、パーパスを持って両翼を俯瞰できる「両利きの開発人材」を育てていきます。そのような研究開発を通じて生まれる独自の技術や製品で、世界に貢献できるNeo-MORESCOへと成長していきます。

研究開発の未来構想



各事業部の知見、ノウハウに基づく
技術・製品開発が中心

- | | | |
|-----------|----|-----------|
| 機能材事業部 | ▶▶ | 新技術・新製品開発 |
| 金属加工油事業部 | ▶▶ | 新技術・新製品開発 |
| 合成潤滑油事業部 | ▶▶ | 新技術・新製品開発 |
| 素材事業部 | ▶▶ | 新技術・新製品開発 |
| ホットメルト事業部 | ▶▶ | 新技術・新製品開発 |
| デバイス材料事業部 | ▶▶ | 新技術・新製品開発 |

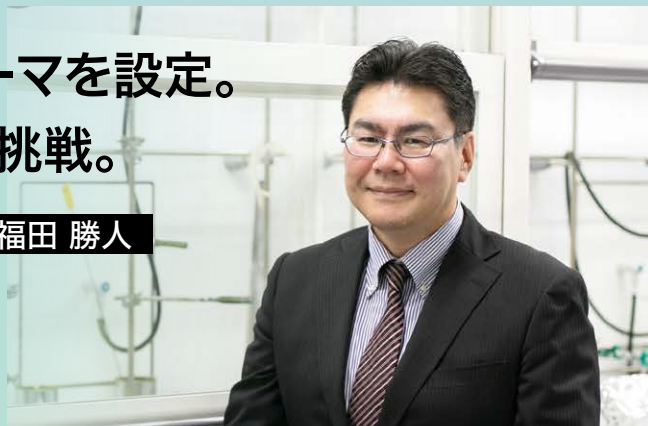


事業部横断型の研究開発チームが新技術を創出。
各事業部などにフィードバックし実用化を促す



環境課題解決に向け複数のテーマを設定。 脱炭素社会の構築に、多角的に挑戦。

執行役員 研究開発部長 福田 勝人



当社は今期制定した新経営ビジョンにて「地球にやさしいオンリーワン」を掲げたように、特に環境課題の解決には意欲的に取り組んでいます。社会のサステナビリティ向上を目指し、現在は異なる発想や技術を応用できる事業部横断型の研究開発体制のもと、複数のチームに分かれて、それぞれ異なるテーマで調査と研究を進行しています。今回はその中の「水素」「バイオマス」の2チームについて紹介します。水素チームは、従来のガス・水蒸気透過度測定装置に使われる技術を展開し、水素透過度測定装置の開発を進めています。脱炭素社会の実現に向けて水素がさまざまな産業で活躍できると期待されていますが、一方でその普及には水素脆化※や必要以上の透過性などのリスクを乗り越える必要があります。水素へのバリア性を高めるための素材開発やコーティング剤開発などが進むと見込まれる中で、水素透過度測定装置へのニーズは

高まっていくと考えています。またバイオマスチームでは、多様なバイオマス材料から当社事業に活用できる物質を調査・検討するとともに、外部から購入した汎用性の高いバイオマス原料を、接着や潤滑といった界面コントロールに活用できる、より機能性の高い原料へと化学変換することもあります。石油由来からバイオマスへ、原料のスムーズな移行は当社事業だけでなく顧客の操業にも直結する重要な課題であり、今後ますます注力する必要があります。環境社会の実現、および産業界全体のサステナビリティ向上へ、使命感を持って研究を進めてまいります。

※鋼材に吸収された水素により、鋼材の強度が低下し安全性が低下する現象。

水素チーム、バイオマスチームが取り組む課題と目標



水素チーム

技術課題

次世代の主要燃料として期待される水素には貯蔵タンクや配管などの鋼材やシール材に用いられる素材の強度・耐久性を低下させるリスクがある

MORESCO の目標

水素透過度測定装置での測定・評価により、安全で持続的な水素社会に貢献する

例えばFCV(燃料電池自動車)の燃料タンクから水素が漏出したり、水素脆化やプリスター破壊の影響でタンク強度が低下したりといった事故を防ぐため、MORESCOではさまざまな物質の水素透過度を測定し寿命予測などに活用します。時間経過に伴う水素脆化の検証や水素への高性能バリアコーティング剤の開発に向けたデータ収集など、より安全に水素を扱える社会に貢献します。



バイオマス
チーム

技術課題

脱石油に向けた新たな原料開発が求められるも、潤滑油や接着剤に有用な代替材料はまだ乏しい

MORESCO の目標

バイオマス原料のラインナップを増やし、新たなエネルギー社会の基盤を構築

地政学的リスクの増加や石油製品の急激な需要減に伴い、暮らし、産業の基盤となる原油の安定調達が危ぶまれています。MORESCOはバイオマス原料の多様化に挑戦。目的・用途に合ったバイオマス原料を用いて機能性材料・製品を作り出すリーディングカンパニーとして、脱炭素社会の基盤を支えます。

MORESCO 年間トピックス

3月

健康経営優良法人2022
(大規模法人部門)2年連続認定

当社は従業員が心身ともに健康であることが、企業の持続的な発展に不可欠と考えております。代表取締役社長が健康経営責任者となり、「一人一人が豊かな環境で育ち、新たな価値を育てていく会社」を実現するため、従業員の健康づくりを推進しています。



7月

in-cosmetics korea
2022に出展

化粧品原料として、有効成分の効果を飛躍的に高めることができるナノエマルジョンを展示。世界有数の市場を持つ韓国で、当社製品の有用性をアピールできました。

もっと詳しく！



水素チーム Q & A

Q 水素透過度測定装置の普及に向けた課題は何ですか？

A 安定して短時間に精度良く測定できるように性能を高めることです。

装置の性能には自信を持っていますので、地道な営業に加え、測定データの公表/ツール化など有用性を理解いただけるよう工夫を凝らして利用実績を増やし、当社の技術の高さを実感いただきたいと考えています。また複数物質を同時に測定できるなど機能性向上や利用コスト削減など、導入ハードルを下げるべくハード面の改良も続けていきます。



ガス・水素透過度測定装置(マルチチャンパータイプ)

Q 水素チームの中長期的な目標は何ですか？

A 水素用物質開発のプラットフォームを目指します。

今後、水素透過度測定装置の開発には多くの競合他社が乗り出してくるはず。そこで装置の性能だけで競争するのではなく、透過度測定の標準化を主導していきたいと考えています。例えば、各メーカーの装置で測定実験を行った際に正確な比較データを導き出せるよう、校正用フィルムを開発。この測定結果を一覧できるデータベースを構築するなど、水素ビジネスを進める上でのプラットフォームとしての役割を目指します。



校正用フィルム

もっと詳しく！

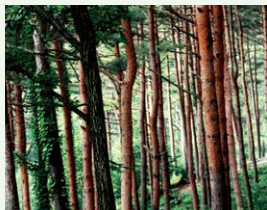


バイオマスチーム Q & A

Q 研究を進める上での主な課題を教えてください。

A バイオマス原料開発のための、材料の確保です。

バイオマス原料のもととなる植物原料や藻類は、実は希少。世界的にバイオマスへの注目度が高まる中、石油や石炭と同様に安定調達課題となりつつあります。当社としては安定的な研究、実験を継続するためサプライチェーンの確保はもちろん、同時並行で、より少ない材料から多彩な原料を作り出せるよう、合成や化学変換の技術力を磨いていく必要があります。



数少ない原料となる松の木

Q バイオマスホットメルト粘着剤の評判はいかがですか？

A 機能と環境性の高さの両面を好評いただいています。

昨年度、当社は植物由来樹脂を25～30%配合したホットメルト粘着剤3製品を開発しました。当初は、特に環境意識の高い顧客のみの導入でしたが、環境貢献性だけでなく、粘着性など機能の高さも評価いただき、他の顧客にも徐々に導入いただけるように。バイオマス製品の品質の高さを着実に認識いただけており、手応えを感じています。



バイオマスホットメルト粘着剤

8月

第6回福島第一廃炉国際フォーラムに出展

福島第一原子力発電所の燃料デブリ取り出し用機器類に使用される、耐放射線性潤滑剤を紹介しました。海外からの来訪者も多い中、当社の技術力や社会への貢献姿勢を示しました。



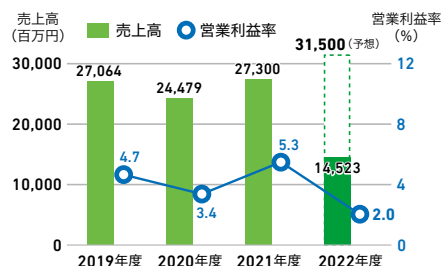
主な連結財務指標

当第2四半期連結累計期間において、ウクライナ紛争の長期化が世界的なインフレに拍車をかけています。また、日米の金融政策の相違が急激な円安をもたらしています。

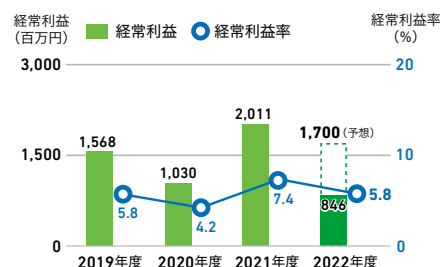
このような状況のもと、当社グループにおいては販売価格の是正により、売上高は14,523百万円（前年同期比8.7%増）となったものの、原材料価格は依然として上昇基調にあり、販売価格への転嫁までにタイムラグが生じていることから、営業利益は295百万円（前年同期比68.0%減）となりました。急激な円安進行による為替差益の計上により、営業外損益は大幅増益となったものの、経常利益は846百万円（前年同期比27.3%減）となりました。

2023年2月期通期は、販売価格のさらなる是正により営業利益率は改善するものと見込んでおりますが、原材料価格の上昇もまた当面の間継続するものと想定されることを踏まえ、売上高31,500百万円、営業利益1,110百万円、経常利益1,700百万円を予想しております。

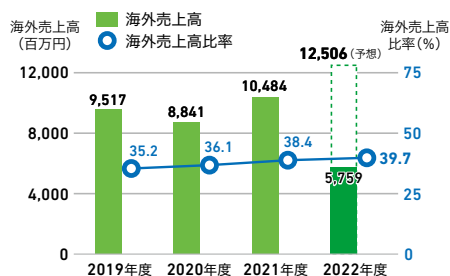
売上高と営業利益率



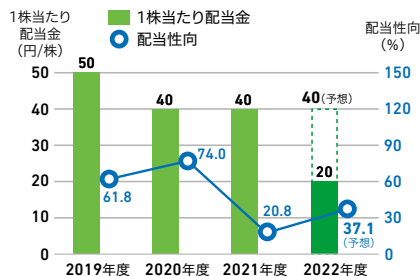
経常利益と経常利益率



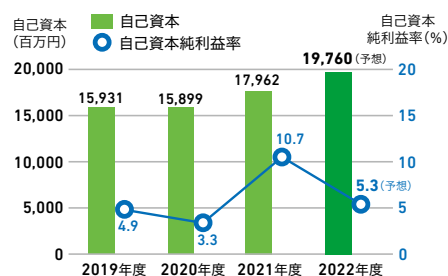
海外売上高と海外売上高比率



1株当たり配当金と配当性向

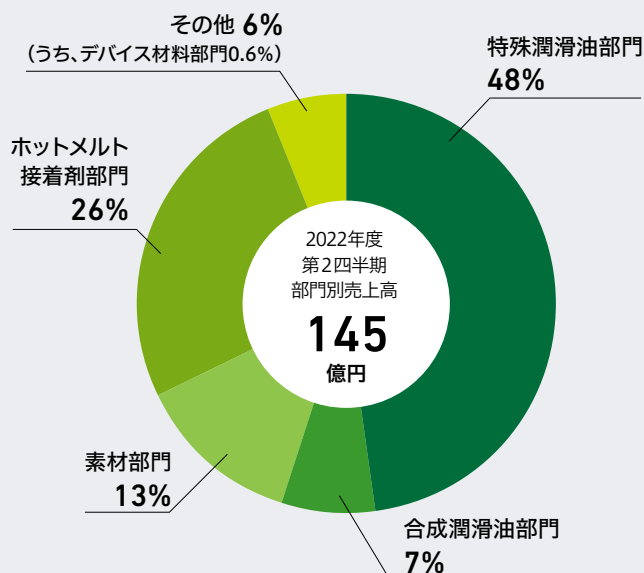


自己資本と自己資本純利益率(ROE)

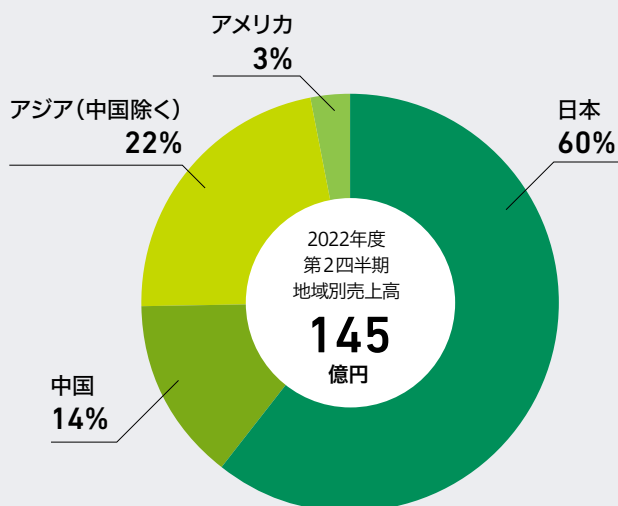


セグメント情報

部門別



地域別



株主様アンケートご回答のお願い

下記URLまたは二次元コードより、アンケートにご回答ください。
所要時間は5分程度です。

アンケート実施期間/2022年11月10日(木)～12月10日(土)

今回の報告書にて、株主の皆様に向けたアンケートを実施することとなりました。
より多くの方のご意見を反映した経営を進めるため、回答へのご協力をお願いいたします。

パソコンから

スマートフォンから

右の二次元コードを
読み込んでください。

株主優待制度の変更に関するお知らせ

2022年4月12日公表の「株主優待制度の変更に関するお知らせ」に記載のとおり、株主の皆様の当社株式の保有状況、ならびに株主の皆様への利益還元および株主優待制度の充実の観点から慎重に検討した結果、従来の方針を踏まえつつより多くの当社株式を保有していただけるよう、現行の株主優待制度を変更することといたしました。株主の皆様におかれましては、何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

ご優待内容

〈変更前〉

保有株式数および継続保有期間	優待の内容
100株以上かつ継続保有期間3年以上	クオカード1,000円

〈変更後〉

保有株式数および継続保有期間	優待の内容
300株以上かつ継続保有期間3年未満	クオカード3,000円
300株以上かつ継続保有期間3年以上	クオカード4,000円

毎年2月末日現在の株主名簿に記載または記録された、当社株式300株以上を保有されている株主様を対象といたします。
継続保有期間3年以上とは、2月末日および8月末日時点の株主名簿に同一株主番号で連続7回以上記載または記録されることといたします。

変更の時期

本制度変更は、2023年2月末日現在(基準日)の株主名簿に記載または記録された株主様への優待贈呈分より適用を開始いたします。
なお、贈呈時期は2023年5月下旬を予定しております。

300株未満の株式を保有している株主様が300株以上に買い増しされ、2023年2月末日時点で300株以上を保有されている場合、300株未満の保有期間も継続保有期間に含まれます。

〈当社株式の保有期間の確認方法について〉

ご自身が保有されている株式の保有期間の確認をご希望の株主様は、下記の番号にお問い合わせの上、株式の異動に関する証明書の発行をご依頼ください。

【連絡先】三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
【電話番号】0120-094-777(通話料無料)
【受付時間】土・日・祝日等を除く平日9:00～17:00

会社概要・株式情報 (2022年8月31日現在)

■会社概要

商号 株式会社MORESCO
設立 1958年10月27日
資本金 2,118,294,000円
従業員数 388名

■本社および事業所

本社・研究センター 神戸市中央区港島南町
5丁目5-3
電話078-303-9010(代表)
支店 東京支店/大阪支店
営業所 名古屋営業所
工場 千葉工場/赤穂工場

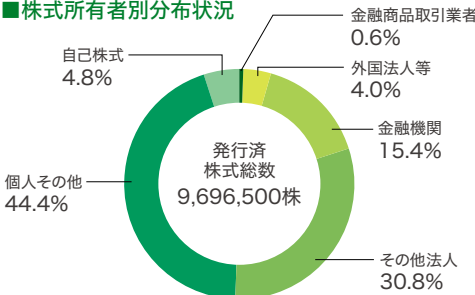
■役員構成

代表取締役社長CEO 両角元寿
取締役専務執行役員COO 瀬脇信寛
取締役常務執行役員CTO 坂根康夫
取締役上席執行役員CFO 藤本博文
社外取締役 富士ひろ子
取締役常勤監査等委員 本田幹夫
社外取締役監査等委員 町垣和夫
社外取締役監査等委員 中上幹雄
社外取締役監査等委員 中塚秀聡

■株式の状況

発行可能株式総数……20,000,000株
発行済株式総数……9,696,500株
株主数……15,176名

■株式所有者別分布状況



■大株主

株主名	持株数	持株比率
松村石油㈱	1,067,000	11.5%
日本マスタートラスト信託銀行㈱(信託口)	759,100	8.2%
コスモ石油㈱	503,000	5.4%
MORESCO従業員持株会	394,520	4.2%
日本曹達㈱	365,000	3.9%
スターライト工業㈱	326,000	3.5%
㈱みずほ銀行	250,000	2.7%
㈱三菱UFJ銀行	250,000	2.7%
大阪中小企業投資育成㈱	209,600	2.2%
㈱日本カストディ銀行(信託口)	192,300	2.0%

※持株比率は自己株式(468,970株)を控除して計算しております。

株主メモ

■事業年度

3月1日～翌年2月末日

■期末配当金受領株主確定日

2月末日
(中間配当を行う場合)
8月31日

■定時株主総会

毎年5月

■株主名簿管理人および

特別口座の口座管理機関
三菱UFJ信託銀行株式会社

■同連絡先

三菱UFJ信託銀行株式会社
大阪証券代行部
〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目
6番3号
TEL:0120-094-777(通話料無料)

■上場証券取引所

東京証券取引所

公告の方法

電子公告により行う
公告記載URL

<https://www.moresco.co.jp/ir/notice.php>
(ただし、電子公告によることができない事故、その他やむを得ない事由が生じたときは日本経済新聞に公告いたします。)

【ご注意】

◎株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。

株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。

◎特別口座に登録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、

特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取り扱いいたします。

◎未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行全国本支店でお支払いいたします。



ミックス
紙 | 責任ある森林
管理を支えています
FSC® C022784